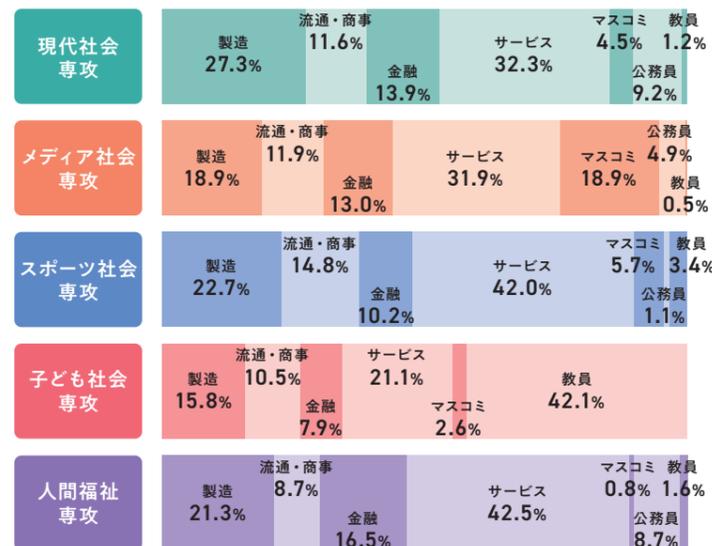


培った力で 未来を切り拓く

[企業規模別就職先] 立命館大学産業社会学部 (2024年度卒)



専攻別 主な就職先



学部として国家公務員一般職 **15**名、地方公務員 **37**名、教員 **26**名

※グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。※端数処理の関係で100%にならない場合があります。

製造: 味の素冷凍食品(株)、川崎重工業(株)、キヤノン(株)、キユーピー(株)、京セラ(株)、クリナップ(株)2名、コクヨ(株)、サッポロビール(株)、参天製薬(株)2名、サントリーホールディングス(株)、(株)島津製作所、シャープ(株)2名、スズキ(株)2名、住友林業(株)、積水ハウス(株)2名、大和ハウス工業(株)4名、タカスタンダー(株)2名、タマホーム(株)、トヨタ自動車(株)、日清製粉(株)、パナソニック(株)、浜松ホトニクス(株)2名、(株)日立製作所2名、富士電機(株)2名、(株)堀場製作所、本田技研工業(株)、三菱自動車工業(株)、三菱電機(株)3名、(株)明電舎、森永乳業(株)、山崎製パン(株)2名、(株)ロッテ

流通・商事: (株)赤ちゃん本舗2名、(株)アダストリア3名、(株)アルペン、イオンリテール(株)2名、(株)カインズ、(株)キタムラ、(株)クワダのアオキ2名、(株)コメリ、(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)ゼンショーホールディングス、(株)ゾフ、(株)ニトリ5名、日本生活協同組合連合会、(株)ビックカメラ、(株)ファーストリテイリング、(株)メガネトップ、(株)ヨドバシカメラ2名、(株)良品計画3名

金融: 大和証券グループ、東京海上日動火災保険(株)、日本銀行、(株)日本政策金融公庫2名、日本生命保険相互会社7名、野村證券(株)、みずほ証券(株)2名、(株)みずほフィナンシャルグループ、(株)三井住友銀行、三井住友信託銀行(株)、(株)三菱UFJ銀行、三菱UFJニコス(株)、明治安田生命保険相互会社4名、メットライフ生命保険(株)、(株)りそな銀行2名

サービス: ANA(全日本空輸(株))2名、イオンモール(株)、出光興産(株)、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、(株)エイチ・アイ・エス2名、(株)NTTドコモ2名、(株)大塚商会2名、関西電力(株)3名、(株)サイバーエージェント、(株)JTB2名、静岡ガス(株)2名、住友不動産販売(株)、東海旅客鉄道(株)、東急リハビリ(株)2名、東北電力(株)、(株)トヨタシステムズ2名、西日本高速道路(株)、日本航空(株)2名、日本電気(株)、(株)日本旅行、(株)ニュー・オータニ、野村不動産(株)、(株)阪急交通社、阪急電鉄(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)星野リゾート・マネジメント、(株)マネーフォワード

マスコミ: (株)ADKホールディングス2名、(株)朝日新聞社、一般社団法人共同通信社4名、NHK(日本放送協会)2名、(株)ジェイアール東日本企画、(株)スポーツニッポン新聞社、(株)中日新聞社、ディップ(株)、(株)テレビ朝日、(株)電通、(株)トーン、(株)東北新社、(株)日本経済新聞社、(株)読売新聞東京本社

取得できる資格

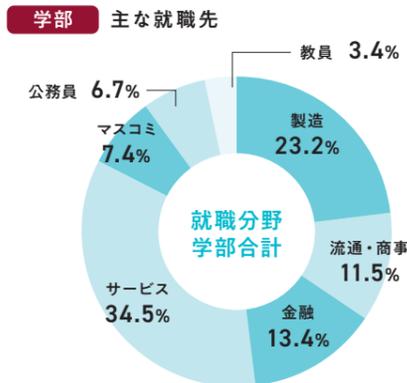
- 全専攻で取得可能
 - 社会調査士(定員60名)
 ※定員を超えて申し込みがあった場合は選考を行います。
- 人間福祉専攻のみで取得可能
 - 社会福祉士国家試験受験資格(定員40名)
 ※社会福祉士資格課程の履修希望者には選考を行います。
※社会福祉士資格課程の履修には別途社会福祉士課程履修料(※2024年度実績9万8千円)の納入が必要となります。

取得できる教員免許

- 全専攻で取得可能
 - 中学校教諭一種(社会・保健体育)
 - 高等学校教諭一種(地理歴史・公民・保健体育)
 - 特別支援学校教諭一種(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)
- 子ども社会専攻のみで取得可能
 - 小学校教諭一種
 ※子ども社会専攻では、小学校教諭一種免許状を取得せずに、中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状・特別支援学校教諭一種免許状を取得することはできません。



大学院進学 2.3%
大学での学びが楽しいと感じた人は、ぜひ大学院進学を考えてみてください。楽しいだけでなく、もっと専門性を高めませんか。学部4回生で、大学院授業を早期履修もできます。グローバル社会で求められるスペシャリストへの第一歩を踏み出そう。



進路・就職・資格について詳しくはこちら
www.ritsumei.ac.jp/ss/recruit/



[充実のキャリア形成・就職支援]

低回生からキャリアイメージを形成できるよう、多様なキャリアにふれる企画が充実しています。さまざまな分野で活躍する卒業生のトークセッションや就職活動に役立つ実践的スキル育成のための講座がそろっています。

キャリア形成特殊講義(キャリア探偵団)

企業担当者からの助言・指導を受けながら、企業が実際に抱える課題に対して政策提言をおこなうクラスです。フィールドワーク調査や企業へのプレゼンテーションを通して、学生が自身の職業キャリアについても考えるきっかけとなっています。

キャリア形成・就職支援

[過年度実施例] ●「貿易業務、国際業務、Globalで活躍するために」(卒業生による講演会) ●「ジャーナリスト塾」(「新聞」記者による作文と面接指導) ●「スポーツに関連する仕事の実践」(卒業生による講演会) ●「輝く社会福祉現場」(現場で働く方による講演会) ●「実践的能力育成のための講義」(専門家によるグループディスカッション、ロジカルシンキング、プレゼンスキル講座) ●「社会福祉士国家試験対策講座」や「教員採用試験対策講座」など

立命館大学キャリアセンターHP
www.ritsumei.ac.jp/career



立命館大学 産業社会学部

- 現代社会専攻
- メディア社会専攻
- スポーツ社会専攻
- 子ども社会専攻
- 人間福祉専攻

“社会の深層を読み解く力”を、あなたに。

ニュースを読み、SNSに触れ、社会に生きていても、本当に見えているのは、
 社会の表面だけかもしれません。「なぜそうなっているのか？」を問い直し、
 社会の深層を読み解く力——それが産業社会学部の学びです。

“見えているけど、見えていない”
 社会の奥行きを、ともに考えてみませんか？

柔軟なカリキュラムで
 \ 専門性と学際性を高める /

Crossover Learning

多様な関心に応じて、自分だけの学びをデザインすることができます。専攻・領域横断的に科目を履修し、複雑な社会問題に多角的にアプローチすることができます。

地域や社会とのかかわりから
 \ 問題発見・解決する /

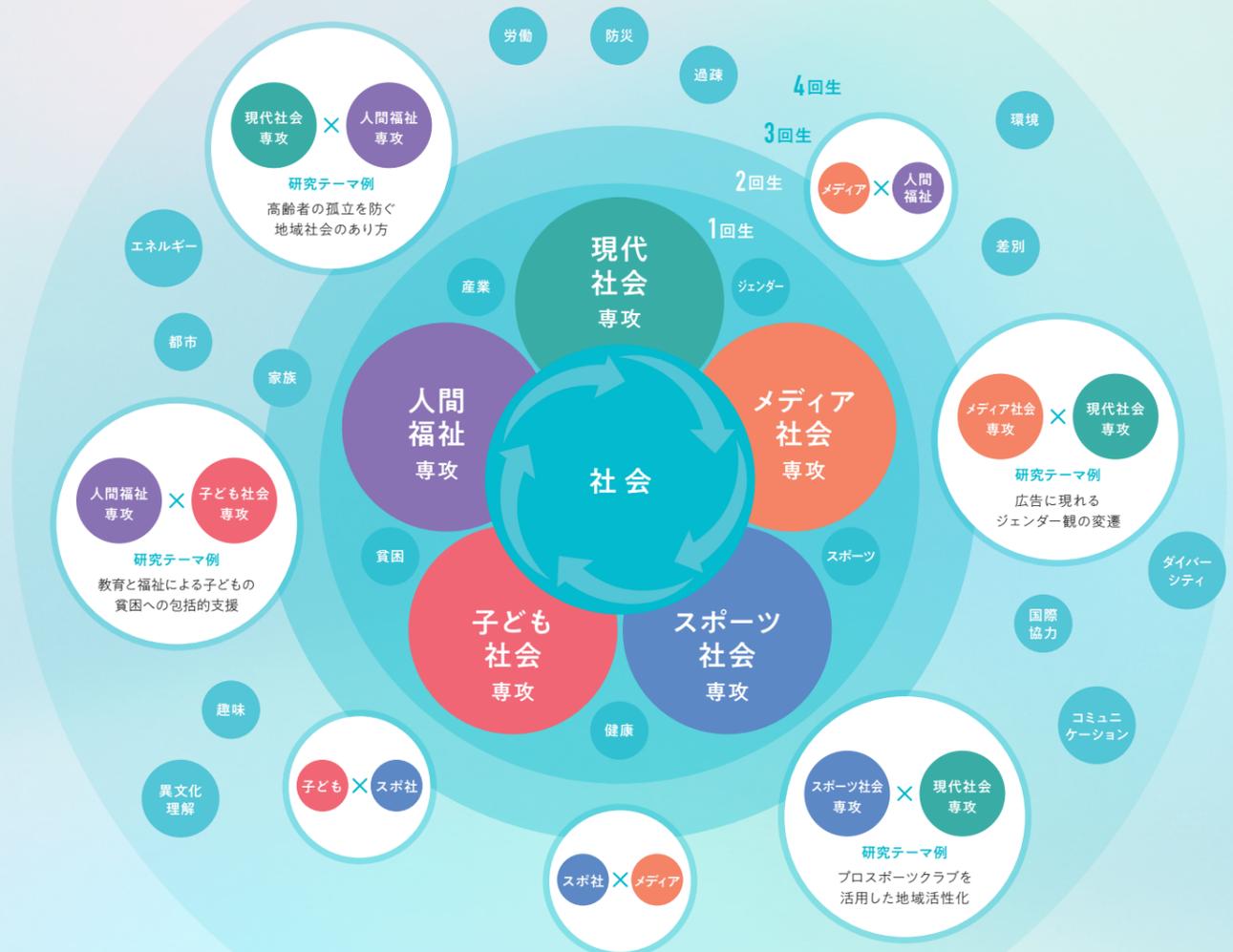
Active Learning

講義での学びや文献購読による理論的思考、データ分析や国内外でのフィールドワークによる調査・研究から、今抱えている問い、新しく出会う問いに取り組みます。現場からみえてくる問いに仲間と挑戦しましょう。

\ 二つの専攻での学びから複眼的な思考と知見の形成を目指す /

Double Major 履修制度

クロスオーバー・ラーニングを実現するための一つの仕組みです。所属専攻に加えて別の専攻をサブメジャー専攻として一つ選ぶことができ、二つの専攻での専門的な学びを通じて自らの研究を紡ぎあげていきます。ゼミナール選択の幅が広がるとともに、サブメジャーの専門科目を一定数取得することでダブルメジャー修了証が授与されます。



Social Sciences

5つの専攻で、専攻の枠を越えて、
 多様な社会問題への理解を深め、解決に向けて専門的・学際的に学ぶ

4年間の学び

自分だけの学びをデザインする

全学の海外短期研修
プログラム



学びの特色について
詳しくはこちら



5つの専攻、幅広いテーマ、多様な仲間との出会い、
一人一人の想いをひろうサポートが、あなたの問いをかたちにする。

◆専門性と学際性を高めるカリキュラム

4年間の学びについて
詳しくはこちら



現代社会 専攻	●多文化共生論 ●環境論	●家族社会学 ●労働社会学	●社会病理学 ●都市論	●住民自治論 ●国際社会経済学	●社会文化論 ●比較宗教学	●社会思想 ●比較ジェンダー論 など
メディア社会 専攻	●現代とメディア ●メディア技術史	●現代メディア史 ●メディア文化論	●メディア社会論 ●ジャーナリズム論	●広告文化論 ●スポーツメディア論	●音声メディア論 ●メディアリテラシー論	●映画と社会 ●グローバルメディア論 など
スポーツ社会 専攻	●現代とスポーツ ●スポーツ史	●ウェルネス論 ●スポーツ社会学	●スポーツ文化論 ●スポーツ政策論	●スポーツマネジメント論 ●障害者とスポーツ	●スポーツとジェンダー ●グローバルスポーツ論	●スポーツ人類学 ●余暇の社会史 など
子ども社会 専攻	●子どもと社会 ●子どもと教育の歴史	●現代学校教育論 ●現代教職概論	●現代若者論 ●子ども・若者と 社会病理	●学校文化・学校空間論 ●学校カウンセリング論	●子どもとICT ●子どもと遊び	●グローバル教育論 ●いのちの教育 など
人間福祉 専攻	●現代と福祉 ●社会福祉概論	●人間発達論 ●ソーシャルワークの 理論と方法	●公的扶助論 ●社会保障論	●NPO・NGO論 ●国際保健医療政策研究	●家族関係論 ●地域福祉論	●発達保障論 ●福祉労働論 など

1回生

大学での研究に必要な基礎力である、
知識・教養・問題構造の理解力・
情報収集力などを磨いていきます。

基礎演習



アメリカ・カリフォルニア
(レジャー・スポーツビジネスの最前線を学ぶ)

2回生

専門性を高めるとともに学際的な
学びを進め、緻密に考え発信するための
アカデミックスキルを高めます。

プロジェクト スタディ



オーストラリア
(社会学を学び実用的・学術的英語力を伸ばす)



ポーランド
(平和、教育、福祉の理念と実践を学ぶ)

3回生

ゼミナール

1・2回生で得た知識や
アカデミックスキルをもとに、
専門テーマを深め、
進路目標を明確化していきます。

4回生

卒業研究

4年間の学びを
社会で活躍する力に高め、
学びの成果を卒業論文・
卒業制作に仕上げます。

大学院進学
就職

国内外のフィールドから学ぶ実践的なプログラム

ソーシャルデザインプログラム (SDP)

「社会問題の発見と解決」に関する理論と実践を体系的に学ぶプログラムです。グローバルな視点で社会のさまざまな課題を捉え、ローカルな視点を持ちながら課題の解明と解決をグループワークや個人ワークで実践していきます。



SDPを通して
「まだ出会っていない自分に出会いましょう！」
永野 聡 教授

グローバルスタディプログラム (GSP)

国内外で起きている社会諸問題について国際的な視点から学ぶことをめざす学生の皆さんを対象に、産業社会学部が提示する国際教育履修モデルです。このプログラムでは、多文化共生・異文化理解のための講義科目とフィールドワーク科目、外国語でのコミュニケーション力を涵養する語学科目等を配置しています。

海外短期研修

海外の大学と連携しながら海外短期研修プログラムを実施しています。産業社会学部のカリキュラムの中で培った外国語の総合的運用能力を基礎に、海外というフィールドで各分野の専門学修を深めます。

地域連携プロジェクト

「問題の本質的な理解をもって、解決に向けた思考力と実践力を養うこと」「多様な他者とのやりとりの中から自分自身を批判的に検証・理解し、総合的な人間力を養うこと」を目指し、産業社会学部では、地域連携プロジェクトを積極的に展開しています。

実践家に学ぶ

産業社会学部では、学外諸機関からゲストを迎えた専門科目を開講しています。社会の第一線で活躍しているプロフェッショナルの講義はどれもパワフルです。
【開講科目例】
読売マスコミ講座、読売スポーツ社会学講座、朝日新聞・朝日放送リレー講座、京都市連携講座

産業社会学部Webサイトで
詳しく紹介しています。



プログラム・資格

英語副専攻
高度な英語運用能力を身につけながら、社会学関連の専門知識を幅広く英語で学び、発信する力を鍛えるプログラムです。
社会調査士
産業社会学部では、必要な科目の単位を取ることで「社会調査士」資格を取得できます。「社会調査士」は、インタビュー調査やアンケート調査の方法を学び、世論や市場動向、社会事象などをとらえることのできる能力を有する「社会調査の専門家」であることを証明するものです。

*科目は2025年度カリキュラムの抜粋です。*開講するプログラム・渡航先は年度により異なります。

現代社会専攻

現代社会の課題に多角的な視点から鋭く迫り、
真に豊かな未来を探求する。

経済・社会のグローバル化、宗教・文化の違いを巡る対立や紛争、貧困・格差の深刻化、家族の多様化、災害からの復興、過疎が進む地域の疲弊、異常気象と地球温暖化…。現代社会専攻は、多岐にわたる現代社会の諸課題を多角的に学ぶ専攻です。社会の構造に関する理論・思想と歴史・実践を学び、フィールドワークも積極的に取り入れることで、社会課題の解決に向けて主体的に取り組む力を培います。

■ 学びの特色

自由で公正な社会を実現するために、
自ら「問い」を立て、多角的・複眼的に学ぶ
ことを通じて、具体的な解決策を探求する。

現代社会専攻は、社会の諸課題に関して、自分自身の興味関心にもとづき、多角的・複眼的な視点から鋭く迫る学びを提供しています。「社会形成」「社会文化」「環境社会」という3つの領域とその科目群を中心に、自らの問題意識に沿って学びをデザインし、教員や同級生とともに深く探求していくことができる履修プログラムを用意しています。

■ 身に付く力

柔軟かつ強靱な知性と感性を得て、
自ら率先して社会をリードする人材へと
大きく成長を遂げる。

現代社会専攻での多角的な学びを通じて、現代社会の諸課題を複眼的に捉え、その解決策と道すじを構想する論理的・批判的思考を身につけることができます。社会課題の解決に必要な専門的知見と、多分野を横断的に捉える俯瞰力を獲得することで、日々刻々と変化していく現代社会を「生き抜く力」が涵養され、社会の様々な舞台で活躍することが可能となります。

■ 卒業論文テーマ (過年度例)

- 仕事と子育ての両立はなぜ難しいのか—非正規雇用の女性からみる
- 戦争をどう反省し、平和をどう捉えてきたのか—舞鶴市と広島市を比較して
- 大地の芸術祭におけるアート作品の参加と地域コミュニティの活性化—十日町周辺地域での作品を事例に—
- 教育機会均等としての大学無償化
- ファストファッション企業の環境保全と持続可能性に関する研究—UNIQLOとZARAの環境問題への取り組みを事例として
- 「60歳からの人生ゲーム」を含むACPツールキットの新規性及び、医療介護職に対する有用性
- ルッキズムの視点から考える摂食障害—SNSの普及とその影響



Message 教員メッセージ

私の専門は社会心理学です。「産社で心理学ができるの?」と思われるかもしれませんが、産業社会学部、その中でも現代社会専攻は、社会学を核に経済学、政治学、社会心理学、宗教学、都市計画論、ジェンダー論、環境論…など、幅広い学問を【学際的】に学ぶことができます。

加藤 潤三 教授

人びとが安心して
いきいきと過ごせる居場所を
地域のなかにつくりたい。



Student's Voice

現代社会専攻では、幅広い学びを通して自分の視野を広げることができます。私はいじめ問題を勉強したいと思って入学しましたが、いじめに限らず、様々な生きづらさや困難を抱えながら生きる人々の存在を知りました。たとえば、無戸籍で学校や病院に行けない人、家事や家族のケアを担う子ども・若者、アイデンティティに葛藤する移民二世などです。大学での学びを通じて、そうした他者が抱える問題への想像力を養うことができました。誰もが安心して生き生きと過ごせる居場所がある社会を実現するために研究の力を活かしたいと考え、卒業後は大学院に進む予定です。

4年 大安 穂香さん

Pick Up!

環境論

公害問題の歴史やその背景にある社会構造、SDGsの最新事例まで幅広く学ぶ事ができます。

春学期 2年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限		環境論	家族社会学		
2限	現代政治論	ソーシャルデザイン スタディーズ 入門			社会病理学
3限	プロジェクト スタディ	ソーシャルデザイン スタディーズ 実践	労働社会学		比較 ジェンダー論
4限	計量社会学				Academic Reading & Discussion 1
5限					

春学期 3年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限			国際社会 経済学		
2限		都市論		社会文化論	
3限	現代平和論	比較宗教論	Issues of Democracy	ゼミナール	
4限	住民自治論		戦争の歴史と 思想		
5限			社会思想		

メディア社会専攻

メディアの役割や使命を学び、
社会とのより良い関係を創出する。

「私たちとメディアとの関わり」を様々な角度から捉え返す—それが、メディア社会専攻での学びの目的です。メディアの現場で必要とされる知識や技能を修得するだけでなく、現代社会とメディアとの関わりを問い直し、あるべき「メディア社会」をいかに考えていくか—こうしたことに重点を置いて学んでいきます。

● 学びの特色

3つの領域でメディアを多角的に学ぶ。

「送り手」と「受け手」の両面からメディアと人との関わりを考える「市民メディア」領域、テレビや広告などメディアの「発信媒体」と社会・政治・歴史などとの関係を考える「メディア社会」領域、映画・マンガ・スポーツなどさまざまな文化との関わりからメディアの役割を考える「メディア文化」領域で、メディアを広く、そして深く学んでいきます。

● 卒業論文テーマ (過年度例)

- 理想的な母親像と愛情弁当—活字メディアによる描き方から捉える—
- YouTuber聖地巡礼による地域活性化—「東海オンエア」と愛知県岡崎市を事例に—
- なぜジャズが飲食店BGMとして用いられるのか—社会的な空間と意味—
- スマートフォン社会におけるネットいじめの危険性と対策とは
- ディズニー映画における男性の描かれ方の変容
- Z世代に向けた「ショートドラマ型広告」の研究—物語広告の視点から—

● 身に付く力

コミュニケーションを理解し、
実践できる社会人になる。

私たちが日常的にメディアを介して情報を送受信していることの社会的な意味を考え、自分の言葉で表現できるようになること。メディア社会専攻での学びを通じて、AIなど情報技術が高度に進化し、フェイクニュースが氾濫する現代社会で、「何をどのように受け取り、伝えるか」を自ら判断し、実践する確かな土台を修得することができます。



Message 教員メッセージ

私たちの日々の暮らしは、メディアに支えられています。SNSやAIの普及によって複雑化する今日の情報環境を、日々のWebサービスの利用や街中の広告、漫画やアニメ、推し活といった身近なところから捉えていきましょう。

藤嶋 陽子 准教授



メディア文化の奥深さを学び、
ファン文化とメディアの
関係を探究したい。

Student's Voice

メディア社会専攻は、メディアという統一テーマを多角的な視点から学ぶことのできる幅広さが魅力だと感じています。社会学を基盤にしながら、多様な専門性を有する先生たちが学生の興味を広げる後押しをしてくれます。私が所属しているゼミは、消費文化の研究を専門とする先生が担当しており、私自身はオンライン上でのファン文化をテーマとして、ファン活動を支えるプラットフォーム上での「タグ付け」に注目した研究を進めています。将来は大学院への進学を希望しており、ジェンダーやメディア利用の観点からファンの二次創作活動に関する研究をさらに深めていきたいと考えています。

4年 鈴木 六華さん

Pick Up!

マンガ文化論

表現、メディア、商品など複数の観点から
マンガの文化的特性を学びます。

春学期	2年次の時間割					社会調査士課程を履修
	月	火	水	木	金	
1限	活字 メディア論	メディア リテラシー論		メディア 文化論		
2限		広告論		情報 リテラシーII	メディア社会 専門特殊講義	
3限	プロジェクト スタディ				ジャーナ リズム論	
4限	スポーツと 現代社会	教養 ゼミナール				
5限					社会 調査士II	

秋学期	3年次の時間割					グローバルスタディプログラムを履修
	月	火	水	木	金	
1限	スポーツ メディア論	子どもと メディア		マンガ 文化論		
2限	異文化理解 フィールド ワーク	超領域 リベラル アーツ		English in Film 2		
3限				メディア 倫理		
4限	Cross- cultural Encounters 1		English in the Media 2	ゼミナール		
5限						

スポーツ社会専攻

心豊かで健康的な人間社会のために、
スポーツやレジャーのあり方を考察する。

「スポーツを時代や社会、人びとの人生との関係の中で理解し、その望ましい関わり方はどうあるべきか？」を問い続けることが、スポーツ社会専攻のアイデンティティです。本専攻では、講義だけでなく、地域や海外に出て実践的に学ぶプロジェクト型学習を用意しており、人文・社会科学の観点からスポーツやレジャーの「いま」を鋭く分析し、より良い世界をデザインする力を養うことができます。

■ 学びの特色

スポーツを社会や文化、経済、教育など多角的な視点から学び、社会問題の解決に向けた深い理解を目指す。

体育やスポーツ科学での学びとは異なる特長として、スポーツの「本質」や時代ごとの価値・役割を究明するとともに、現代社会との関係性の中でスポーツのありようを問い直す「スポーツ文化」「スポーツ社会」の学びをコア・カリキュラムとしています。ときには「スポーツ」そのものの価値を問い直す客観的な視点をも養います。

■ 卒業論文テーマ (過年度例)

- 中途障害者とスポーツ: シッティングバレーボール強化選手のライフヒストリー
- Jリーグクラブの経営戦略としての地域連携事業の特色とその背景: 京都サンガ F.C. を事例にして
- これからの「オリンピック・ガバナンス」のあり方に関する研究
- 国際的なスポーツイベントが日本の地方都市にもたらすものは何か
～FIA F1世界選手権シリーズ日本グランプリレースを事例に考える～
- 子どものサッカースクールにおける居場所機能の検討: サードプレイスの観点から
- 現代の日本プロ野球界において最適な本拠地球場とは～魅力的なスタジアムを目指して～

■ 身に付く力

スポーツやレジャーに関する多角的な理解にもとづいて、その学びを社会へ還元できる。

国内外のスポーツやレジャーに関する文化や政策、ビジネス、メディアなどについて専門的に学ぶだけでなく、産業社会学部の持つ多様な学びと本専攻の専門性を組み合わせ「スポーツ×多様性」「身体×テクノロジー」「スポーツ×地域活性化」など、自らの興味関心や将来のビジョンに応じた自分だけの学びをデザインできる、多様で個性豊かな人材を輩出しています。

Message 教員メッセージ

スポーツ社会専攻では、「スポーツ文化」と「スポーツ社会」の観点から、社会課題に取り組む力を育みます。たとえば、誰もが楽しめるスポーツの「場」の創出を目指して用具やルールを工夫することや、実践を通じて参加者の声を反映する事業評価は、共生社会の推進に活かされます。

金山 千広 教授

人びとの安心・安全な
生活の実現に貢献したい。

Student's Voice

スポーツ社会専攻では、政策・歴史・ジェンダー・福祉など多様な視点からスポーツの意義を考察できる講義があり、現場でのフィールドワークも充実しています。私は3年次にサッカークラブである京都サンガF.C.と連携した授業を受講し、スポーツマネジメントや地域づくりを現地で学び、理論と実践の結びつきへの理解を深めることができました。ここで獲得した多角的な思考力と実践力は、社会で活躍していくうえでの強みになると考えています。将来は大学での学びを活かし、人々の安心・安全な生活の実現に貢献したいと考えています。

4年 田中 和花さん

春学期 2年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限				スポーツ社会学	
2限		スポーツ心理学III		スポーツ文化論	障害者とスポーツ
3限	プロジェクトスタディ	ソーシャルデザイン・スタディーズ実践	グローバルスポーツ論	スポーツとジェンダー	スポーツマネジメント論
4限	保健体育科教育概論		スポーツ人類学		
5限					

秋学期 3年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限	スポーツメディア論	映像と表現			
2限		スポーツ政策論			
3限	スポーツ史	スポーツボランティア論	スポーツ行政論	ゼミナール	
4限	ウエルネス論			保健体育科授業法	
5限	読売スポーツ社会学講座		異文化理解フィールドワーク		

Pick Up!

スポーツ社会学

文化としてのスポーツを社会の文脈に位置づけ、そのあり方や変化を学びます。



子ども社会専攻

「社会」から「子ども」を、
「子ども」から「社会」を考える。

「子ども」・「若者」期は、私たちがみなそれを経験しているという特徴、そしてそのことによってかえって、その多様性や複雑さに気づくことが難しいという特徴があります。子ども社会専攻では、子ども・若者期を現代社会の中で捉え直し、その課題や教育の意味について追究します。

● 学びの特色

理論と実践を往還した学び。

子ども・若者の生活世界や教育のあり方について、歴史・制度・文化など、多様な観点から探究していきます。また、理論的な学びにとどまらず、学校や地域、支援の現場などに実際に足を運び、現場の声に耳を傾けることもできます。理論に裏打ちされた確かな実践力を養います。

● 身に付く力

幅広い視野と高い専門性を身につけた「子ども・若者のスペシャリスト」。

小学校教員養成課程を設置しており、「小学校教諭一種免許状」を取得することが可能です。免許取得に向けたサポートルームを併設しており、手厚い支援のもとで専門職を目指すことができます。卒業生は、教育現場・官公庁・民間企業等において、培ってきた幅広い知識と諸課題への対応力をいかして活躍しています。

● 卒業論文テーマ (過年度例)

- 教育機会確保法の施行による不登校支援の転換
- VR技術を効果的に利用した学習教材の開発 一視点移動能力と直接的体験
- 制度の比較から考えるより良いコミュニティ・スクールの在り方
- 小学校国語科の物語の授業における「読める」の定義
- フィンランド式教育ブームとはなんであったか
- 読み困難 (dyslexia) 児の音韻認識支援に関わる教材の検討



Message 教員メッセージ

教職課程の学びを深める、子供・若者に関する学びを極める、他専攻の学びを広く求める…。本専攻で学士(社会学)を修めるのには、さまざまな可能性があります。あなたの主体的な思いを、全力でサポートします。

松岡 宏明 教授

子どもたちが多様な他者とともに

楽しい未来を描くことのできる

教師になりたい。



Pick Up!

子ども・若者と社会病理

様々なデータや理論が紹介され、
社会問題についての認識が変わります。

Student's Voice

他専攻の科目を幅広く履修することで、社会にあるさまざまな問題を多角的に捉え、自分の意見をもち、教育の「当たり前」とは異なる視点から子どもの成長を考えられるようになります。このような批判的思考の大切さは、社会学部だからこそ身につけられます。また、教員免許取得に向け、手厚いサポートを受けながら実践的に学べます。将来は、これらを通じて、子どもたちが他者の立場にたつて見えない側面に気づき、その結果として多様性を承認していけるような学校づくりをめざしていきたいです。

3年 赤松 諒哉さん

春学期 2年次の時間割 小学校教諭免許の取得を目指す場合

	月	火	水	木	金
1限	初等社会			現代教職概論	
2限	算数科教育法			初等理科	子どもと遊び
3限	プロジェクトスタディ	初等英語	学校カリキュラム論		生活科教育法
4限					家族社会学
5限					

春学期 3年次の時間割 小学校教諭免許の取得を目指さない場合

	月	火	水	木	金
1限		メディアリテラシー論			
2限		生命倫理学		スクールソーシャルワーク論	
3限				ゼミナール	生涯学習論
4限			学校カウンセリング論	現代若者論	子ども・若者と社会病理
5限					学校文化・学校空間論

資格取得 小学校教員養成課程

子ども社会専攻では、小学校教諭一種免許状取得のための「小学校教員養成課程」を設置しています。本学部の課程では、他専攻科目の履修が可能であり、幅広い知見を獲得することができます。また、学修に取り組みやすい環境を整え、専門の教員から実践に即した手厚い支援を受けることができます。

PSTルーム (PST=Primary School Teacher)
小学校教員になるための教材研究・模擬授業準備・採用試験に向けての学修に活用できるサポートルーム



人間福祉専攻

その人らしく尊厳ある
多様な暮らしと生き方を支援する。

人間福祉専攻では、年齢や性別、障がいの有無、環境に関わらず、誰もが尊厳を保ち地域で暮らせる社会の実現に貢献します。社会保障・福祉制度の理解から、個別の支援スキルまで、自分の関心に合わせて修得。社会福祉と人間発達の視点から、社会を俯瞰する「眼」と、人に寄り添うための知識・スキルの「芽」を育みます。

■ 学びの特色

ウェルビーイングの真理を探究。
多様な学びで、自分の可能性をデザインする。

人間福祉専攻では、社会福祉士、特別支援教育、社会調査士といった専門資格課程が履修できます。社会福祉学を基盤に、ダブルメジャー制度や国際プロジェクトなどに参加し、複雑な現代社会が抱える課題を見つめることも可能です。多様な学びを組み合わせる自由な環境で、将来の進路や自分の可能性を自らデザインできます。

■ 身に付く力

社会福祉の視点で社会を読み解き、
多様なフィールドで
「より良い未来」を創造する。

人間福祉専攻での学びは、社会福祉の視点で社会を読み解き、多様なフィールドで「より良い未来」を創造する力となります。社会貢献できる確かな力で自らの未来をデザインします。社会福祉専門職や教員のほか、サービス業、製造業、金融業、公務員など幅広い分野への進路を実現します。

■ 卒業論文テーマ (過年度例)

- 災害後の心的・精神的ケアについての考察 PTSD発症事例・支援策事例から見る現状と課題
- どのような絵本が赤ちゃんに好ましいとされるのか ―ブックスタート赤ちゃん絵本の調査を通して―
- 未就学児の障害福祉サービス事業の現状と期待される役割について ～療育を通じたA君の姿から考える～
- 前科37犯の事例から考える司法と福祉の連携とは
- NPOとの協働による社会的効果 ～地域課題解決のための行政とNPOの協働プロセスに関する考察～

Message 教員メッセージ

障害・虐待・貧困など福祉課題と人々のくらしの接点を見つめ、課題の解決に向けた福祉制度のあり方や「支える」とは何かを問い直します。見過ごされがちな声に耳を澄まし、一緒に社会のしくみを見つめ直しましょう。

桜井 啓太 准教授

社会福祉士として、

すべての子どもが健やかに

成長できる社会を実現したい。

Student's Voice

人間福祉専攻の魅力は、誰もが自分らしく暮らしていける社会を実現するための支援について学ぶなかで、自分自身も人として大きく成長できることです。社会的に困難な状況を抱えている方への支援について深い知識を得ていくことで、自分の中にある偏見や固定観念に気づき、広い視野を持って共生社会の実現のために自分が果たすべき役割を考えていく機会を得ることができます。私は現在、特に児童福祉の領域に興味を持ち、「すべての子どもが健やかに成長できる社会」を目指し、日々学びを深めています。

4年 山本 安寿さん

春学期 2年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限			社会調査論	ソーシャルワークの理論と方法I	ソーシャルワーク演習専門I
2限	計量社会学	老人福祉論	質的調査論	地域福祉論	ソーシャルワーク実習指導I
3限	プロジェクトスタディ				ソーシャルワーク演習I
4限			専門中国語I		専門中国語III
5限					社会調査士II

春学期 3年次の時間割

	月	火	水	木	金
1限			児童福祉論		English in Film
2限			Presentation Skills I		基礎演習(ES)
3限	障害者福祉論			ゼミナール	専門中国語V
4限	グローバル社会論	ソーシャルワークの基盤と専門職I	ソーシャルワーク演習(専門)II		
5限			ソーシャルワーク実習指導II		
7限	データサイエンス基礎				

Pick Up!

ソーシャルワークの基盤と専門職

社会福祉の実践現場と理論の間に生じるジレンマについて、事例を通して学べる講義です。

資格取得 社会福祉士課程

社会福祉士は相談・援助業務に関する国家資格の専門職です。社会福祉士課程に所属し、所定の科目を修得することにより国家試験の受験資格を得られ、国家試験に合格することにより社会福祉士の資格を得ることができます。社会福祉士には、福祉現場、行政、病院、企業などでの活躍が期待されています。

学生の声:現場経験豊富な先生方のサポートで、不安だった実習を乗り越え、ソーシャルワーカーになりたいという思いが固まりました。実習後も国家試験対策はもちろん、就職活動や卒業論文との両立まで相談できる、頼れる存在です。

● 国家試験合格率 全国平均を大きく上回る合格率!

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
本学合格率	82.8%	75.0%	70.8%	87.5%	86.4%
全国平均	29.3%	31.1%	44.2%	58.1%	56.3%

*社会福祉士課程の履修にあたっては定員を定めています。*資格取得にあたっては実習費用など別途履修費用が必要です。



幅広い専門領域の教員が教育・研究をサポート

教員紹介について詳しくはこちら

www.ritsumeikan.ac.jp/ss/about/faculty/



メディア社会専攻

記憶・ノスタルジー

メディア史

戦争の記憶

韓国

東アジアの連帯と分断

趙相宇

歴史社会学

ジャーナリズム

レクリエーション

ワークライフ・バランス

社会的ネットワーク

運動制御

運動生理学

ナショナリズム

スポーツ社会学

スポーツ史

武道

オリンピック

ワールドカップ

イギリス

ジェンダー

ライフスタイルスポーツ

多様な「生き方」を表現するスポーツ

市井吉典

文化社会学

ファッション

視覚イメージ

表象文化論

ライトノベル

言語・国際教育

言語学

日本語学

言語習得

言語

外国語教育

朝鮮語

スペイン語

シティズンシップ教育

HOSACK IAN

海外移住

観光

移民学

武田淳

イノベーション

科学技術社会学

風力発電

再生可能エネルギー

脱炭素

社会学

社会思想

社会心理学

ジェンダー

ヤングケアラ

家族社会学

人種・エスニシティ

多文化

国際社会学

孫片田晶

増淵あさ子

富永京子

社会運動

環境論

建築学

都市社会学

武岡暢

歌舞伎町

社会参加

永野聡

ソーシャルデザイン

参加型まちづくり

合意形成

永橋為介

社会学

スポーツ社会専攻

産業社会学部の研究分野・対象の一例

産業社会学部の教員

人間福祉専攻

子ども社会専攻

※所属教員と関連する学問分野・研究トピックの一部を示したキーワード群です(2025年4月1日現在)

社会問題を科学する

Pick Up!

ジェンダー

地域とジェンダーという2つの切り口から、これまで注目されてこなかった声や経験に光を当て、社会や歴史の新しい見方を探っています。具体的には、東北など日本の地方部で活動してきた女性たちの語りや、彼女たちが発行していたミニコミ(自主制作雑誌)を手がかりに、ジェンダーの視点から社会を変えようとした実践を調査しています。女性の活動は歴史に残りにくく、地方部の動きは大都市中心の視点では見えにくいものです。このような視点は、多様性を尊重する現代の地域づくりを考えるヒントにもなるはずです。

柳原 恵 准教授

現代社会専攻

専門分野

ジェンダー研究、女性史・ジェンダー史、地域女性史、女性運動、フェミニズム運動、ライフストーリー

世界の見え方が変わる、ジェンダーの視点。



Pick Up!

SNS

スマホ一つで誰もが発信者になれる時代。SNSでは「面白い!」が瞬時に世界へ広がり、政治や世論まで動かす力を持ち得ます。私は、拡散数・再生数やコメントといったWeb上のデータ、あるいは人々へのアンケートを通したSNS利用に関するデータなどを分析し、SNS上のコンテンツやコメントが人々にどのような影響を与えるのかを探求しています。同時にメディア業界の方と対話を繰り返し、健全な情報空間を実現する方策を探っています。誰もが安心して情報摂取・情報発信を行うことができる社会設計を、一緒に考えてみませんか。

谷原 吏 准教授

メディア社会専攻

専門分野

社会情報学、SNS研究、政治コミュニケーション

健全な情報空間の形成のために何ができるか。



社会を学び、未来をつくる

つながりの中で育まれた視点 —地域から広がる、学びの可能性—

在学中は、地域都市の課題解決をテーマにしたゼミ活動に取り組みました。地域に根ざした課題を基盤に日本や世界に広がる課題にも目を向け、地域の方々や企業、行政の方など、多様な立場の人と関わるなかで様々な視点を学び、実際の施策の遂行まで経験できた事は、私の宝です。卒業後は社会の仕組みや商流を広い視野で体感できる点に魅力を感じ、商社に就職しました。産地で培った「人と繋がり、信頼関係を築く力」は、商社ビジネスでも武器になっています。「これがやりたい!」と明確でなくても、自分の興味に素直になって一歩踏み出すことで、きっと道は拓けていきます。

伊藤 健真さん

現代社会専攻

2025年卒業



住友商事ケミカル株式会社
(コーポレート本部HRマネジメント室)

一置かれた場所で咲く— 現代社会を見つめ直し、自ら主体的に学びをデザインする

在学中はメディアリテラシーのゼミ活動に注力。オリンピックの新聞報道をグループで分析し、メディアを読み解く力や学生と共に協働してやり抜く姿勢を学びました。卒業後は学部と共通した指針に惹かれ、社会課題解決による価値共創を目指すキリンに入社しました。現在はスーパーなどの量販店への酒類営業に従事。ゼミや講義の多面的な学びが、お客様視点で考え抜く提案力に繋がっていると感じます。必ず大学の経験は未来の糧になってくれます。

梅田 直哉さん

メディア社会専攻

2022年卒業



キリンビール株式会社(中四国流通支流通第1支店)

スポーツと地域のつながりを学び、地域に応援してもらえる選手になるために

大学在学中は、スポーツの力が社会にどんな影響を与えているのかを学びました。僕は現在、プロサッカー選手として生活していますが、自身や所属するチームの活動は、地域の方々や協賛していただける企業、行政の支えで成り立っています。どのようにお金や人が流れてチーム運営を支えているのか、応援してくれる方々にスポーツを通してどう恩返しをしていくか、こうした学びを通してプロサッカー選手としてあるべき姿を考え直すことができ、今のサッカー人生に活かすことができている。

川崎 颯太さん

スポーツ社会専攻

2024年卒業



京都サンガF.C.

教育で世界をつなぐ —未来を広げる学びの力—

在学中に多様な視点から「子ども」とそれを取り巻く「社会」を学ぶ中で、国際理解教育に関心をもちました。在学時に参加したタイでの学校ボランティアは、今の私の原点です。教師として子どもたちと関わるなかで、「国際協力の学びを日本の教育に還元したい」という目標が生まれ、現在はJICA海外協力隊としてパラオの小学校で授業力向上を支援しています。大学で培った多角的で柔軟な学びが、人生の可能性を広げてくれたと実感しています。そして切磋琢磨した仲間や支えてくださった先生との出会いは一生の財産であり、次の挑戦へと踏み出す原動力になっています。

二ノ丸 実穂さん

子ども社会専攻

2019年卒業



パラオ ミューンズ小学校(JICA海外協力隊)

社会的に弱い立場にある人々の声を聞き、「より良い」社会を目指して働きかけていく

私が産業社会学部に入った理由は、社会福祉士の資格を取得して児童福祉に関わる仕事に就くためです。在学中は主に、福祉や教育の専門的な知識を学び、授業はもちろんのこと、実習や先生方との交流から福祉や教育の現場に触れることができたと感じています。現在は念願叶って児童福祉の仕事に就くことができ、学んだ知識を直接的に活かすことができている。大学での経験を通じて理解を深めた福祉専門職の倫理を心に留めて、子どもの安心安全を守る仕事に励んでいきたいです。

田村 唄さん

人間福祉専攻

2025年卒業



児童相談所